

第1学年生活科学学習指導案

日 時：令和4年11月24日 公開授業1

対象学級：1年2組 31名

指導者：多田 智子

1 単元名

かぞくにここ大きくせん

2 内容のまとめ

[学校・家庭及び地域の生活に関する内容]

(2) 家庭と生活

[身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容]

(8) 生活や出来事の伝え合い

3 単元の目標

(1) 家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支えあっていることがわかる。

[知識及び技能の基礎]

(2) 家庭生活に関わる活動を通して、家庭における自分の生活や役割などについて考えることができる。

[思考力、判断力、表現力等の基礎]

(3) 家庭生活に関わる活動を通して、家族の一員として、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりすることができるようにする。[学びに向かう力、人間性等]

4 単元について

(1) 児童について

ア 児童は、これまで生活科の学習で、学校探検をしたりアサガオを育てたり、季節の自然物を使って遊んだりするなど、様々な活動や体験をしてきている。その中で、考えたことや気付いたことについて友達と交流しながら学習を進めてきている。

イ タブレットを使用し、生活科の学習で作った作品の写真を撮って、電子黒板に投影しながら、お互いの作品のよいところを交流する学習を経験してきている。

(2) 教材について

ア 学校生活にも慣れ、落ち着いて生活することができるようになる1年生のこの時期に、自分の生活の基盤である家庭生活に目を向け、家族のことや自分でできることなどについて考えていくという単元である。

イ 本単元では、身近にいるのがあたりまえで、その大切さに気付かなかった自分の家族について、繰り返し調べたり話を聞いたりする活動を行う。児童が、家族の一員としてできることを考え、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりすることで、よりよい生活をしようとする意欲を高めることが期待できると考える。

ウ 単発での「お仕事調べ」や「お手伝いをする事」にとどまらず、継続的に実践し、それらを振り返ることで、自分が家庭生活の役に立っていることを実感できる活動としていく。

(3) 指導について

ア 本單元における言語活動の特徴等

家庭生活に関わる活動を通して考えたことや気付いたことを、ワークシートに表現したり友達と伝え合ったりすることを繰り返し行うことで、気づきの質を高めていき、単元の目標を達成できるようにしたい。

イ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫等

「主体的な学び」を実現するために、家族は誰のため、何のために家庭での仕事を行っているのかを伝え合うことで、家庭生活における家族と自分との関わりに気付かせ、考えさせていく。そして、自分でできそうな家庭の仕事に挑戦していこうという意欲をもたせていきたい。また、挑戦したことを振り返り、交流する中で「家の人のために、自分ができることをもっとしたい。」という思いをもたせ、児童自身が家庭生活に関わろうとする意欲をもたせていく。

「対話的な学び」を実現するために、家庭で取り組んできたことや、取り組んで分かったこと等をワークシートにまとめ、記録してきた写真も活用しながら友達と伝え合う場面を設定する。この交流活動を通して、一人一人の発見が共有され、そのことをきっかけに気づきの質を高めることができるようにしていく。

「深い学び」を実現するために、まず、いつも当たり前にいる家族の一日を調べ、友達と交流する中で、家族のよさや自分も家族の一員であることを感じ取らせる。そして、自分でできそうな仕事ややってみたい仕事を計画し、「かぞくにこにこ大きくせん1」を実践していく。実践したことを価値付けるとともに、友達と交流し、「家族をもっと笑顔にしたい。」「もっと仕事を続けたい。」という意欲をもたせ「かぞくにこにこ大きくせん2」の実践につなげていきたい。実践したことをさらに交流したり、振り返ったりする時間を設定し、自分の家庭での役割や自分も家族の一員であることに気付かせていきたい。単元全体を通して、友達との交流を繰り返しもつことで、自分自身への成長への気づきへとつなげていきたい。

ウ 研究の手立てとのかかわり

家庭で自分が仕事を行っているところをタブレットで写真に撮ってくる。

その写真を電子黒板に投影することで、視覚化を図りながら、気付いたことを発表し、全体で交流する。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
単元の 評価規準	家族がにこにこになるための活動やそれを伝え合う活動を通して、家族の大切さや自分が家族によって支えられていること、家族と交流することのよさや楽しさが分かっている。	家族がにこにこになるための活動やそれを伝え合う活動を通して、家族のことや自分でできることを考えたり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	家族がにこにこになるための活動やそれを伝え合う活動を通して、自分の役割を積極的に果たし、規則正しく健康に気を付けて生活したり、進んで家族と触れ合ったりしようとしている。	
小単元 における 評価規準	1	①家庭の温かさ、家族一人一人のよさがわかっている。 ②家庭生活を思い起こしたり、調べたりして、家族のことや自分のこと、自分がしていることなどについて表現している。	①家族と一緒にいて楽しかったことや、助けてもらったことなどを思い出そうとしている。 ②家庭生活を支えるための家族の1日や仕事を調べようとしている。	
	2	②家族が健康に規則正しく生活するために、家庭には多くの仕事や役割があることに気付いている。	③家庭生活におけるそれぞれの役割を見直しながら、自分の取り組み方を決めている。	③家族が喜ぶことを考え、自分ができることに取り組もうとしている。
	3	③家庭には、自分でできる仕事がたくさんあることや、自分の役割として家の仕事をするための大切さに気付いている。	④家庭生活の中で、自分でできることを考えている。	④家庭生活の中で、自分でできることを継続して行おうとしている。
	4	④家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。	⑤家庭生活をよりよくするために取り組んだことを振り返りながら、友達と交流している。	⑤家庭生活をよりよくするために、自分の取り組みを見直しながら、家族の一員として自分の役割を果たそうとしている。
	5	⑤これまでの活動を通して自分自身のよさや成長に気付いている。	⑦過去の自分と現在の自分自身を比べてわかったことを素直に表現している。	⑦これまでの成長に自信をもち、意欲をもってこれからの生活をしようとしている。

6 指導と評価の計画（10時間）

小単元名 (時間)	学習活動	評価 規準	評価方法
1 みんなの1 日をしらべ よう (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○「とびら」の写真を見ながら、家族がにこにこする場面や家族について思い出し、笑顔を見て感じることなどを話し合う。 ○家族や自分がしていることについて話し合う。 ○家庭での1日の過ごし方を思い出し、家族の1日の過ごし方について考える。 ○家庭でわからないことを見たり尋ねたり写真に撮ったりして、家族の1日や仕事を調べる。(家庭) 	思① 態① 知① 思② 態②	<ul style="list-style-type: none"> ・発言分析，行動観察 ・発言分析，行動観察 ・発言分析，行動観察 ・発言分析，ワークシート分析 ・ワークシート分析，写真
2 なにをかん じたかな (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分と家族の1日の過ごし方で気付いたことを話し合う。 ○家庭で仕事をする家族の気持ちを考える。 ○家族が家庭のために果たす役割や仕事と自分との関わりについて考える。 	知② 思③ 態③	<ul style="list-style-type: none"> ・発言分析，ワークシート分析 ・発言分析，ワークシート分析 ・発言分析，行動観察
3 できること にちょうせ ん (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭の中で自分ができそうなこと，やってみたいことを考える。 ○一人で，あるいは家の人と一緒に取り組む。(かぞくにこにこ大きくせん1)(家庭) ○自分が行った家の仕事を写真に記録しておく。 ○家庭で行った仕事について振り返り，ワークシート等に表現し交流する。 	思④ 態④ 知③	<ul style="list-style-type: none"> ・発言分析，ワークシート分析 ・チャレンジカード分析 ・発言分析
4 大きくせん をつたえよ う (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○家族が喜んだり，家庭生活が楽しくなったりするために自分ができる家庭の仕事を考える。 ○家庭で仕事を行い(かぞくにこにこ大きくせん)，写真等に記録する。(家庭) ICT(視覚化) ○取り組んでみて分かったことを発表できるように資料を作成する。 ○家庭で取り組んだ仕事やわかったことをロイロノート等に表現し，交流する。 ICT(視覚化・共有化) ○「かぞくにこにこ大きくせん」の振り返りをする。 ○わかったことを伝え合い，家族に手紙を書く。 	態⑤ 思⑤ 知④	<ul style="list-style-type: none"> ・発言分析，チャレンジカード分析 ・ロイロノート分析，ワークシート分析，発言分析 ・振り返りシート分析，手紙分析
5 これまでの をふりかえ ろう ふゆ休みを げん気にす ごそう (1)	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでのことを伝え合い，自分自身の成長を振り返る。 ○年末年始の行事のことや，冬休み中の生活，家族と一緒にやってみたいことなどについて話し合う。 	知⑤ 思⑥ 態⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・発言分析，ワークシート分析

7 本時の指導（8時間目／全10時間）

（1）目標

家庭での取り組みを友達と交流して、家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気づき、家族の一員として家庭生活をよりよくするために、自分の役割を果たすことができるようにする。

（2）展開

段階	学習活動	指導上の留意点（◇評価）
導入 2分	1 前時の学習想起 2 本時の課題把握	
	「かぞく にこにこ 大きくせん」の発表会をしよう。	
展開 25分	3 課題解決 ・家でチャレンジしたことや分かったことを発表し、友達と交流する。 ICT（視覚化・共有化） ・発表を聞いて分かったことや感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> 家で仕事をしている様子の写真を電子黒板に提示し、取り組んだことや分かったことを全体で交流する場を設定する。 ◇【思・判・表⑤】 〔ロイロノート・ワークシート〕 家庭生活をよりよくするために取り組んだことを振り返りながら、友達と交流している。 ・自分が取り組んだ家の仕事と発表している友達の内容を比較しながら聞くことで、新たな発見や気づき生まれるようにする。 ・友達の発表を聞いて、分かったことやすごいと思ったこと等を視点にして、感想を発表できるようにする。 ◇【思・判・表⑤】〔発表〕 家庭生活をよりよくするために取り組んだことを振り返りながら、友達と交流している。 ・友達の発表を聞いてわかったことや感想を伝えている。
終末 18分	4 学習を振り返る	
	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも続けて家の仕事をしていきたい。 ・友達の発表を聞いて、玄関掃除をするコツを知ることができたので、自分も挑戦してみたい。 ・みんな、おうちの人の役に立ててよかったと思った。これからも役に立ちたい。 	
	・振り返りを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な振り返りカードを準備し、記入できるようにする。 【知識・技能①】 〔発言・振り返りカード〕 家庭には、自分でできる仕事がたくさんあることや、自分の役割として家の仕事をするこの大切さに気付いている。 ・家の仕事に取り組んだことを称賛し、今後も継続して取り組んでいこうという意欲をもてるようにする。

(3) 板書及び電子黒板等の計画

ア 板書

㊦「かぞくにここに大きくせん」のはっぴょうかいをしよう。

(例)

はっぴょう	ともだちのはっぴょうをきいて	ふりかえり
①げんかんそうじ大きくせん ②せんたくものたたみ大きくせん ③おふろそうじ大きくせん ④おさらびかびか大きくせん ⑤かたもみ大きくせん ⑥おへやかたづけ大きくせん	○きづいたよ！ ○すごい！ ○はじめてした！	<u>ぜんぶのはっぴょうをきいて</u> ○きづいたこと ○わかったこと ○かんがえたこと ○これからチャレンジしてみたいこと
ロイロノート	はっぴょう	ふりかえりカード

イ 電子黒板

家の仕事をしている写真など